

競技・審判上の注意

① 試合会場の割り当て

<第一会場> 真岡市総合体育館・・・男女 A・C クラス

<第二会場> 武道体育館（2F）・・・男女 B クラス、各クラス交流戦

※但し、男女 B クラスの一部の試合については第一会場にて行います。詳しくはタイムテーブル参照のこと。

② マッチ及びインターバル（試合の進行状況によっては、変更する場合があります。）

■本戦

男女 A・B クラスは、

21 点 3 ゲームマッチとします。延長なし 21 点打ち切りです。ファイナルゲームは、11 点でチェンジインズです。

i) 各ゲーム、どちらか一方が 11 点に達したら、60 秒を超えないインターバルを取ることができます。

ii) ゲームとゲームの間は 1 分間のインターバルを設けます。

iii) サイドコーチのアドバイスは、ゲームとゲームの間のインターバル、もしくは水分補給のときのみ認めます。

準々決勝より正式ポイント（21 点 3 ゲームマッチ、延長 30 点まで）で行います。

ただし、男女 C クラスについては、全試合 15 点 3 ゲームマッチ（延長 21 点まで）とします。ファイナルゲームは 8 点でチェンジインズです。

■交流戦

全クラス、15 点 3 ゲームマッチとします。延長なし 15 点打ち切りです。

③ 交流戦

交流戦は、1 回目の試合で負けた選手すべてを対象として実施します。例えば、初戦が不戦勝で、2 回戦で負けた場合も対象となります。希望者は、第二会場の本部（または 2F アリーナ出入口付近）にある受付名簿に記名をして、呼び出しをお待ち下さい。交流戦を始めるときは、館内放送や LINE オープンチャットでお呼び出しますので、会場を離れて待機して頂いても結構です。

第二会場で行われる B クラスの試合の進行状況を見ながら、交流戦を入れていきます。開始はおおむね 13～14 時になる予定です。

④ 審判

■本戦

主審は、審判協力チームと大会本部が担当します。線審は、次にそのコートで試合をする選手（又は父兄、チーム関係者）が行って下さい。得点板は、敗者が残って、次の試合を担当して下さい。

※選手が 3 年生以下の場合は、大人か高学年の選手が代わりに線審をお願いいたします。

■交流戦

相互審判とします。対戦チーム同士で 1 名ずつ出て、主審（線審を兼ねる）と線審をコートの対角に配置して試合を行って下さい。得点板については、敗者が残って次の試合を担当して下さい。

⑤ 進行

タイムテーブルのコート番号にとらわれず、流し込み方式で行いますので試合のコールにご注意下さい。

第一、第二会場それぞれの本部付近に「選手集合場所」を設けます。試合番号をコールされたら、そちらにお集まり下さい。集合場所では、召集係に自分の名前を告げて、チェックを受けてから待機して下さい。

試合の順番がきたら、審判用紙をお渡しますので、対戦相手と共に指定されたコートまで移動して下さい。まず、そのコートの線審をやり、その試合が終わったら、審判用紙を主審に渡して、自分たちの試合を始めてください。

初戦に限り、試合前に 2 分間の練習時間を設けます。主審の指示に従い、対戦者同士で練習をして下さい。練習のシャトルについては、選手が用意して下さい。

感染予防対策として、試合開始時と終了時の握手は省略しますが、勝者サインは選手が行って下さい。その後、勝者は、審判用紙を受け取って、各会場の本部まで持って来て下さい。敗者は、次の試合の得点板を担当して下さい。

※「選手集合場所」には、なるべく選手のみでお越し下さい。選手の代わりに線審をする方は、選手がコートに移動したのを見はからって、直接コートまで来て下さい。

⑥ 表彰

各クラスの準決勝及び決勝終了後に随時行います。閉会式は行いません。優勝・準優勝・3位までは賞状と賞品、メダルを授与します。(3位決定戦は行いません。)

⑦ その他

コーチ席は、各エンドラインに1席ずつ設けます。

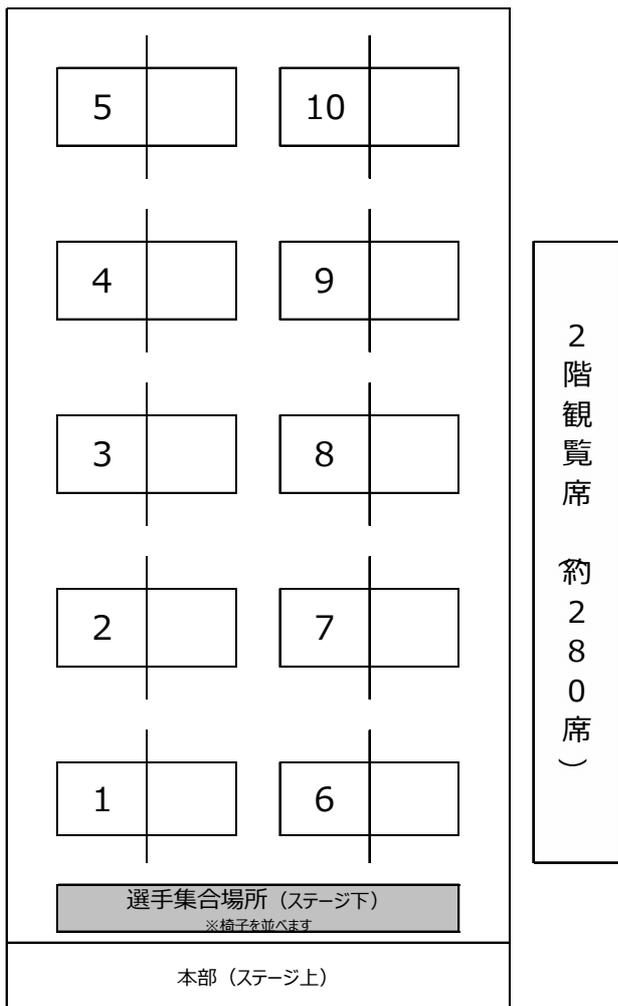
感染予防対策のため、タオルや飲み物ボトルを床に直接置かないようにして下さい。コートサイドに各自バッグなどを持参して、それに入れて下さい。

しもつけオープンにおけるケガなどを保障する団体傷害保険に加入しております。大会中にケガをした場合は、お申し出下さい。

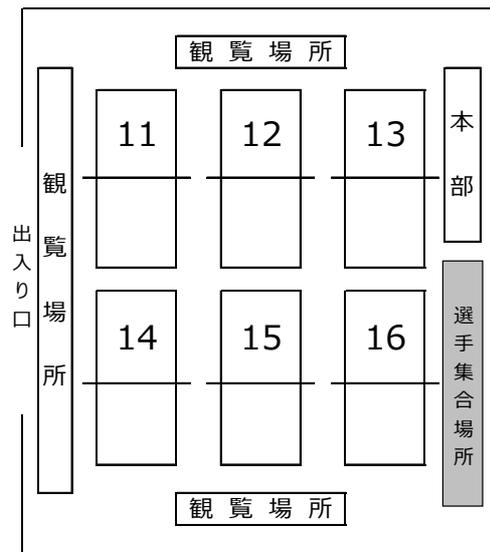
⑧ 会場図

第一会場については、都県ごとに観覧スペースを割り当てます。割り当てについては、別途お知らせいたしますが、座席のないスペースを割り当てる場合もございます。予めご了承下さい。

【真岡市総合体育館（第一会場）】



【武道体育館（第二会場）】



以上